

射耗率

九六八小鏡黃包

五〇九一

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

四三二六

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

三〇

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

四二六

一三三 射空報平詳報

昭和三十一年三月
步兵第六十三旅團

考 4.

010 b

引致... 第一... 第三... 第十... 廿一... 廿三... 廿四

第一... 第十... 廿一... 廿三... 廿四

戰詳第三號

昭和三十年二月二十日

一月二十日空襲戰鬥詳報

沖繩

2398

To 44



RS 95398
Cincpac-Cincpoa
B- 27001
OKINAWA 24 July

步兵第六十三旅團

大塚第六十三旅團

馬場百太郎大塚輝國等

一九四五年三月二十一日

OKINAWA ST. 244
B- 5 2001
Cluchsc-Cluchsc
HS 22389

目次

第一 戦闘前ニ於ケル彼我ノ状況

一 敵情

ニ 我カ軍ノ状況

第二 戦闘ニ影響ヲ及シタル氣象並ニ住民地ノ状態

第三 彼我ノ兵力編成裝備、敵ノ戦法

第四 邀撃戦闘

第五 將來ノ参考トナルベキ事項

別紙 情報綴

附表

第一 戦闘参加人員編成表

第二 死傷表

- 第三 戰果表
- 第四 兵器損耗表
- 第五 被服糧秣建造物損耗表

第一 戰鬪前ニ於ケル彼我ノ狀況

一 敵情

ムルソン島ヲ繞ル比島戰局ノ緊迫化ニ伴ヒ「マリマナ」ヲ基地トスル
 敵空軍及機動部隊ハ在支米空軍ト策應シ我カ後方補給路
 ヲ遮斷セントシ其ノ蠢動ハ漸次激化シ本月ニ入リテハ初旬ノ米
 第三十八機動部隊ノ南西諸島空襲ヲ始メ屢々南西諸島臺灣
 ニ來襲セリ

2. 一月十七日軍ヨリノ情報ニヨレバ敵機動部隊三群ハ補助艦ヲ增強
 シ依然南支那海臺灣東方海面ニ游弋シアリテ間接的ニ呂宋方
 面作戰ヲ支援センカ爲在支米軍ト策應シ南西諸島臺灣支那
 沿岸方面ニ對シ我カ増援遮斷ノ攻撃ヲ再行スル算ナリ「マリマナ」
 群島方面ノ別機動部隊亦南西諸島臺灣比島方面ニ増援スルノ微

アリト

3. 一月二十一日。八五海軍哨海機ハ鷲臺鼻基点全度二三。哩ニ敵機
動部隊(A3 B2 C3 45)西進中ナルヲ捕捉ス次デ。セ三。一。〇。八三。ノ間艦
載機約二三。機臺灣全島地區ニ來襲シ二五ニ六「F六下」コラマン
艦載機約二。機沖繩本島小祿空ニ來襲セリ又ニ。二五宮古地區敵艦
載機ノ攻害ヲ受ク

同日二五五臺北基点二四。度三五。料ニ航空母艦三戰艦ニ乃至ニヲ基幹
トスル各々ニ。隻ノ三群ヲ以テ何レモ群毎ノ小輪型陣ヲ間隔約五料ヲ
保持シテ。進路三四。度速度二五乃至ニ。節ヲ以テ進行中ナリ輸送
船ヲ認めズ(軍情)

ニ我カ軍ノ狀況

旅團八十一月二十九日配備變更準備ニ關スル石作命令第五四號ヲ

受領シ十二月十日各部隊ハ夫々新防衛擔任地區ニ轉移ヲ完了シ
爾後現態勢ヲ以テ地上作戰準備ニ專念スルト共ニ諸般ノ狀況ヲ
判断シ敵機ノ來襲ハ今後屢々ナルヲ豫想シ對空監視疎開遮蔽
施設ノ促進ヲ圖リアリタリ

2. 一月初旬以降敵機ノ南西諸島臺灣等ニ對スル偵察空襲ハ激
化シ特ニ二十一日沖繩本島ニ來襲セル敵機動部隊ノ動靜ニ鑑ミ
一モ。丙號戰備(警戒警報)解除セラルルモ軍ノ意圖ト共ニ
丙號戰備ニ準ジ警戒ヲ嚴ナラシメ邀撃準備及軍需品建造
物等ノ偽裝秘匿等ニ遺憾ナキヲ期シ滿ヲ持シテアリタリ

第三戰闘ニ影響ヲ及ビタル氣象及住民地ノ狀態

一沖繩本島全地區共概々晴天ニシテ積亂雲廣ク本島上空ヲ覆ヒアリタル
モ雲高三。〇。米以テシテ敵機ハ雲層下ヲ飛翔スルカ爲敵機ノ發

見並ニ行動監視ハ良好ニ維持セラレタルモノナリ。漸次斷雲ヲ生シ雲
高約一〇〇〇米程度ニ降下シ上空ニ對スル展望ハ逐次妨害セラレ敵
機ハ巧ニ此ノ斷雲ヲ利用シテ來襲逃避トシ鳥發見並ニ其ノ行動監
視ニ稍々支障ヲ感ゼリ

ニ海上平穩ニシテ遠望良好ナリ

三風ハ東南ノ風ニシテ四米内外ナリ

四各村落ハ防風林ヲ有スル爲上空ニ對シ遮蔽ノ効果大ナリ

第三 彼我ノ兵力、編成、裝備、敵ノ戰法

一我カ兵力別紙編成表ノ如シ

ニ敵ハ米太平洋艦隊機動部隊ノ艦載機「F6F」及「TBF「S」B2C」ノ
戰鬥機及爆撃機ニシテ來襲機並約六五〇機ナリ

三敵ノ戰法

ノ空襲時間及機數

波數	時間	機數
第一波	六時五十分ヨリ	約一〇〇機
第二波	八時三十分ヨリ	約五〇機
第三波	九時三十五分ヨリ	約一三〇機
第四波	十一時ヨリ	約一三〇機
第五波	十二時四十分ヨリ	約五〇機
第六波	十三時三十五分ヨリ	約七〇機
第七波	十四時五十分ヨリ	約九〇機
第八波	十六時三十五分ヨリ十九時三十分迄	約三〇機

ニ敵機ハ〇六五。第一波約一〇〇機ヲ始メ每次津堅島方向東海面
ヨリ侵入シ延六五。機ヲ以テ主トシテ飛行場及附屬建物船舶
ヲ反復銃爆毒ヲ實施ス尙一部ハ集團ヲ

ニ襲ス

銃爆撃要領ハ目標ニ對シ高度一五〇。米ヨリ一機先ハ急降下銃
爆撃ヲ實施シ爆彈ハ主トシテ五。秒瞬發及ロケット爆彈ヲ投下ス
ヲカーチス。繼爆ニハ約四。秒級ロケット砲門ヲ裝備セルモノノ如ク地
上攻撃ニ際シ急降下時機銃掃射ト併用シロケット彈ヲ使用セ
モ其ノ效力大ナラス

第四 邀撃戦闘

一 戦闘經過ノ概要

旅團ハ。六四五師團ヨリ空襲警報發令ニ關シ電話ヲ受領シ
速カニ各部隊ニ通報ス。旅團司令部及直轄部隊並ニ各部隊ハ
右警報發令ニ基キ監視哨並ニ對空射撃部隊ノ外迅速ニ掩
蔽下ニ入り逐次侵入セル敵機ニ對シ戦闘ヲ開始セリ

敵ハ早朝ヨリ數次ニ至リ終日執拗ニ來襲シ第一次ニ於テ各飛行場並
ニ同附属建築物ヲ第二次ニ於テ各飛行場一部ヲ以テ港灣並ニ市
街ヲ第三次ニ於テ各飛行場集團部落ヲ第四次ニ於テ飛行場。集
團部落ヲ第五次ニ於テ市街附近ヲ第六次ニ於テ飛行場ヲ第七次
ニ於テ市街附近(特ニ那霸附近)並ニ飛行場ヲ第八次ニ於テ各飛
行場ヲ夫々攻撃セルモ我カ地上部隊ハ果敢ニ之ヲ邀撃シ旅團直
轄八木中隊ハ。七四五。二機。〇八一。一機。二〇〇。二機ヲ
獨立歩兵第十一大隊ハ。八三。一機ヲ夫々撃破シ獨立歩兵第
十四大隊ハ。二五。一機。一一一。一機計二機ヲ撃墜セリ
斯クシテ一七。五敵機ヲ東方ニ撃退シ管内上空ニ敵影。爆音共ニ
全クナク一八三。〇空襲警報解除セラレタルモ一九三五再ニ數機仲西
飛行場附近ニ來襲シ同時刻再ニ空襲警報發令セラレ依然現

態勢ノ儘夜ニ入り戦闘態勢ニアリタルモ一九三七以降ハ防衛地區
内並ニ周邊ニ敵機ヲ認メズニ。五。空襲被害報解除セラレタリ
ニ戦闘後ノ状況

旅團ハ速カニ防衛擔任地域内ノ被害ヲ整理スルト共ニ同夜ハ特ニ
對空對海監視ヲ嚴クラシメ概ネ現態勢ヲ以テ夜ヲ徹セリ

第五 將來ノ參考トナルベキ事項

一 今次旅團ノ被害僅少ナリシハ部隊ハ固ヨリ軍需品等徹底的
ニ分散遮蔽、疎閑、格納等ニ邁進シタル結果ニシテ將來共極メテ
重要ナリト思考ス

二 對空火器ハ敵機ヲ射撃有效距離ニ侵入セハ輕機小銃ヲ以テヨク
撃墜撃破ノ戰果ヲ收メ得ベク亂射ハ戒ムベキモ今次ノ如キ艦載戰
闘爆撃機等ニアリテハ有效距離ニ入ラバ沈着之ヲ必墜スルヲ要ス

三 今次カーチス艦爆ニハ約四。枚級ノロケット砲ニ門ヲ裝備セルモノ
ノ如ク地上攻撃ニ際シ急降下機銃掃射ト併用シロケット彈ヲ使
用セルモ效力大ナラズ該彈ハ發射セラルレバ尾部ヨリ白光及小ナ
ル唸ヲ發シ、斜ニ飛來シ落下ト同時ニ白煙ヲ上げ落下地点
直經五。浬ハ雜草延焼シ彈筒ハ五。六十浬土中(尋常土)ニ埋
没シ彈体ハ小彈片トナリ落下地点附近ニ散亂ス

四 今次爆轟ニカサテハ相當ノ不發彈アリテ粗製濫造ノ徵ヲ伺ヒ
得ラル又盲銃爆等ハ共ニ搭乗員ノ素質ノ底下ヲ示セルモノト
判斷セラル

情 報

四冷六蒸遺ニ入テハ師團ノ不發戰ヲ以テ陸軍ノ盛衰ノ趨ク同
戰ニ戰本ハ八戰中ノ十ニ發テ不發戰ニ類ス
直撃ス。敵ハ敵草或敵ノ戰術ハ五六十機上中(尋常上)ニ對
シテ發シシ。敵ノ飛來ニ發テ同報ニ白敷ヲユクテ發テ不發戰
用ナルコト校ケ大ニ入テ發戰ハ發射スルコトハ風速ニ依リ白敷ヲハナ
ク敵ノ飛來ニ對シテ急降ヲ發射スルコトヲ用シテ發射スル戰術
ニ依リテハ八戰中ノ十ニ發テ不發戰ニ類ス

情 報

- 〇六三〇 空襲警報發令 敵機近接セルニヨル(師團ヨリ)
- 〇七二〇 十一大隊上空東方ハ十二機飛行
- 〇七三〇 與那原十二機爆轟中
- 〇七五二 十二大隊上空ヨリニ。機南下中北飛行場ハニヶ所爆撃セラレアリ
- 〇七五四 二。機仲間附近上空ヲ旋回中
- 〇八〇〇 與那原附近ヲ急降下爆轟
- 敵機仲間上空ヲ旋回與那原ニ向テ
- 小線飛行場ハ機ヲ以テ銃轟中
- ハ機那霸市内銃轟中
- 〇八一〇 仲西ニヶ所及上一ヶ所鎮火

- 〇八一二
- 〇八二〇
- 〇八二五
- 〇八三五
- 〇八三七
- 〇八三八
- 〇八四四
- 〇八四五
- 〇八五二

廣谷附近西海面一機撃墜

十六機ヲ以テ北飛行場ヲ爆撃後低空ヲ以テ西ニ向ヒ進行中

宜野灣附近又上セル形跡ナシ

八機小那覇與那原附近ヲ銃撃中

仲間宜野灣入山附近四機超低空ヲ以テ偵察中

八機ヲ以テ與那原附近ヲ銃撃中一々所々火災ノ模様

城間北飛行場火災各三ヶ所 今八機西海岸ヲ進行中

敵四機仲西南飛行場銃撃中

十二機小那覇飛行場銃撃中八機西方ヨリ北方へ高度一五〇〇

西海岸ヲ北一南進行中

八機高度一〇〇〇西海岸ヨリ首里方向ニ進行中

- 〇九〇五
- 〇九一〇

宜野灣上空ヲ一機東一西へ

七機與那原銃撃中別三機北飛行場旋回中

與那原火災中

宜野灣上空西方ニ機

十一機津堅島ヲ銃撃中

一機與那原銃撃 六機普天間上空西進中

八機泊瀬牧港銃撃中

一機前田監視哨上空ヲ旋回後仲西飛行場ヲ銃撃

八機北飛行場銃撃中

仲間學校ニ對シ一機銃撃中

仲間附近敵機超低空ニ偵察中 旅團管内異常ナシ

- 〇九四二
- 〇九四五

一〇三六 津霸上空十七機北上中

一〇四五 宜野灣上空十四機東南進中

一〇四九 五機中西附近ヲ旋回中 今四分與那原附近ヲ約三機銃撃中

一一〇五 小那霸、模擬戰車ニ銃撃シテ

一一二五 十七機西方ヨリ北飛行場ニ向ヒ飛行中

一一三五 十三大隊兵一右足右手ニ受傷(牧港附近ニテ銃撃ヲ受ケ)

一一三一 十四大隊馬 負傷一

一一三五 敵十七機西南方ヨリ北飛行場ニ進入銃撃中

一一四八 北飛行場ヲ爆撃セシ飛行機八西方海面ニ旋回 仲間ヲ經テ

一一四〇 東方ニ進行ス更ニ南方ニ進ム

仲西上空五機低空ニテ首里方向ニ飛行中

海中ニ撃墜セル既報ノ飛行機八十四大隊ノ戦果ナリ

今三〇〇米吉北側高地ニ敵機一機撃墜セリ

十二大隊十一時迄ノ延機數八五〇

一三三三 那霸上空二五機旋回中

一三二四 北一南二機 前田上空通過

一三三七 前田上空東一西七機

一三三八 與那原爆撃中

一三三〇 十四機那霸急降下爆撃中 該機ハ仲間上空ヲ通過中

一四一三 手榴彈ノ如キモノヲ投下セリ

一四一五 與那原上空六機銃撃後東海岸ヲ北進中

一四一五 牧港第十二砲台ノ下ニ爆彈投下

一四二〇 十二機北飛行場爆裏中
 一五〇〇 敵機五機那霸上空北ニ向ヒ飛行中
 一五一〇 東海岸ヨリ西南方ニ向ヒ七機飛行中
 一五一四 宜野灣上空十機東一西
 一五一六 首里上空南一北 機數不明
 一五一七 北飛行場三機爆裏中
 一五二五 十二機那霸銃裏中
 一五二六 與那原上空南一北七機
 一五三四 前田上空西北一南十二機 那霸爆裏中
 牧港上空西一東四機

一五三八 大山上空東一西三機
 一五四五 北飛行場爆裏後西方ニ四機脱去ス
 一五五〇 牧港上空八機旋回中
 一六〇九 津霸上空北一南四機
 一六一二 與那原上空南一東北四機
 十一大隊ノ損害 民家小那霸十九戸炎上 男一女四負傷
 軍側ナシ 射耗彈 小銃輕機實包 三四九
 久高島方向ヨリ津霸上空ニ四機 久高島方向ニ去ル
 一六一七 仲西上空ニ旋回中、十二機八目下尙爆撃中
 一六二二 那霸上空爆裏機三機
 一六三五 西原上空北一南三機 引續キ與那原攻裏中
 一六三六

一六四三
一六四四
一六四五
一六五〇

那霸上空爆轟機二機
首里上空南一北二機
與那原上空東一南二機進行中
那霸上空二機墜

二〇〇現在、損害

下士官二員傷(内一打撲傷)
將校一員傷

戰死馬一員傷馬一

民家焼失三、刺殺八

二百七十三大隊損害ナシ 民間側目下調査

獨立機関銃第四大隊 損害ナシ 射耗彈二〇〇

管内上空敵機全クナシ

機種被我不明四機、小祿飛行場旋回後四方ニ脱去

一七〇五
一七三〇

一八三〇
一九三五
一九三七
二〇五〇

空襲警報解除

空襲警報發令

仲西飛行場敵機爆轟中

空襲警報解除

戰鬥詳報第三號附表第一

步兵第六十三旅團編成表

昭和十一年一月二十三日調製

司令部及直轄	旅團長	部隊別	職	官	氏名	將校	准士官	計	其ノ他
司令部	副官	大尉	同	田中邦茂	七	一六四	一七四	乘用車一 自動貨車一 馬三	
通信班	班長	中尉	貴島義隆	一	六八	七〇	馬九		
下士候隊	隊長	中尉	廣田森之助	三	一六	二〇	馬八		
直轄中隊	中隊長	中尉	八木一夫	三	七四	七八			
計	六	一四	四二二	四四三			乘用車一 自動貨車一 馬一〇		
本部	大隊長	中佐	三浦日出四郎	六	九七	一〇四	馬一〇		
立	通信小隊	小隊長	中尉	立原正典	五	五七			
步	作業小隊	小隊長	少尉	片山茂	三	三六			

空軍...
中...
空軍...
空軍...

合計	計	獨立部					計	
		第三中隊	第二中隊	第一中隊	本	部	第二中隊	第一中隊
六	四	中隊長中尉	中隊長中尉	中隊長中尉	大隊長大尉	大隊長中尉	中隊長中尉	
一	二	田村繁行	小笠原道生	西本光男	高橋巖	松尾俊次	大町治平	
三	一	一	二	二	六	三	四	
四	三	七	一	一	五	八	一	
五	三	九	八	九	四	一	二	
六	六	一	二	二	六	八	七	
七	一	同	同	同	自動貨車三	馬	馬	
八	一	同	同	同	自動貨車二	馬	馬	
九	一	同	同	同	自動貨車一	馬	馬	
十	一	同	同	同	自動貨車一	馬	馬	

戰鬥詳報第三號附表第二

一月二十二日步兵第六十三旅團死傷表 昭和九年一月二十三日調製

部隊	區分	戰鬥參加		死		傷		生死不明	
		將校	以下	將校	以下	將校	以下	將校	以下
司令部 (含通信班)		12	232	馬 1	馬 1				
獨立步兵第十六隊		33	743						
同 第十三大隊		33	716						
同 第十三大隊		32	761						
同 第十大隊		26	69						

我團詳報第三號附表第四

一月二十二日步兵第六十三旅團兵器損耗表 昭和三十年一月二十三日調製

部 隊	種類	損耗			
		彈	藥	筒	傷
司令部	九九式小銃	七			
獨立步兵第十六隊	九九式小銃	三九			
同 第十二大隊	九九式小銃	二一七	八九五		
同 第十三大隊	九九式小銃	九五六	四七〇		
同 第十四大隊	九九式小銃	二〇〇	二〇〇		
同 第二三大隊	九九式小銃		四〇〇		
獨立機關銃第四隊	九九式重機				
獨立速射砲第三大隊	九九式短小銃	八			
直轄中隊	九九式重機	二六九	一九六五		
合計	九九式小銃	四〇二	二	一	四

此表係根據各部隊呈報之損耗情形彙編而成，其內容與事實相符，特此聲明。

昭和三十年一月二十三日

步兵第六十三旅團司令部

旅團長 〇〇〇〇

司令部 〇〇〇〇

第一大隊 〇〇〇〇

第二大隊 〇〇〇〇

第三大隊 〇〇〇〇

第四大隊 〇〇〇〇

第五大隊 〇〇〇〇

第六大隊 〇〇〇〇

第七大隊 〇〇〇〇

第八大隊 〇〇〇〇

第九大隊 〇〇〇〇

第十大隊 〇〇〇〇

第十一大隊 〇〇〇〇

第十二大隊 〇〇〇〇

第十三大隊 〇〇〇〇

第十四大隊 〇〇〇〇

第十五大隊 〇〇〇〇

第十六大隊 〇〇〇〇

第十七大隊 〇〇〇〇

第十八大隊 〇〇〇〇

第十九大隊 〇〇〇〇

第二十大隊 〇〇〇〇

第二十一大隊 〇〇〇〇

第二十二大隊 〇〇〇〇

第二十三大隊 〇〇〇〇

第二十四大隊 〇〇〇〇

第二十五大隊 〇〇〇〇

第二十六大隊 〇〇〇〇

第二十七大隊 〇〇〇〇

第二十八大隊 〇〇〇〇

第二十九大隊 〇〇〇〇

第三十大隊 〇〇〇〇

第三十一大隊 〇〇〇〇

第三十二大隊 〇〇〇〇

第三十三大隊 〇〇〇〇

第三十四大隊 〇〇〇〇

第三十五大隊 〇〇〇〇

第三十六大隊 〇〇〇〇

第三十七大隊 〇〇〇〇

第三十八大隊 〇〇〇〇

第三十九大隊 〇〇〇〇

第四十大隊 〇〇〇〇

第四十一大隊 〇〇〇〇

第四十二大隊 〇〇〇〇

第四十三大隊 〇〇〇〇

第四十四大隊 〇〇〇〇

第四十五大隊 〇〇〇〇

第四十六大隊 〇〇〇〇

第四十七大隊 〇〇〇〇

第四十八大隊 〇〇〇〇

第四十九大隊 〇〇〇〇

第五十大隊 〇〇〇〇

第五十一大隊 〇〇〇〇

第五十二大隊 〇〇〇〇

第五十三大隊 〇〇〇〇

第五十四大隊 〇〇〇〇

第五十五大隊 〇〇〇〇

第五十六大隊 〇〇〇〇

第五十七大隊 〇〇〇〇

第五十八大隊 〇〇〇〇

第五十九大隊 〇〇〇〇

第六十大隊 〇〇〇〇

第六十一大隊 〇〇〇〇

第六十二大隊 〇〇〇〇

第六十三大隊 〇〇〇〇

第六十四大隊 〇〇〇〇

第六十五大隊 〇〇〇〇

第六十六大隊 〇〇〇〇

第六十七大隊 〇〇〇〇

第六十八大隊 〇〇〇〇

第六十九大隊 〇〇〇〇

第七十大隊 〇〇〇〇

第七十一大隊 〇〇〇〇

第七十二大隊 〇〇〇〇

第七十三大隊 〇〇〇〇

第七十四大隊 〇〇〇〇

第七十五大隊 〇〇〇〇

第七十六大隊 〇〇〇〇

第七十七大隊 〇〇〇〇

第七十八大隊 〇〇〇〇

第七十九大隊 〇〇〇〇

第八十大隊 〇〇〇〇

第八十一大隊 〇〇〇〇

第八十二大隊 〇〇〇〇

第八十三大隊 〇〇〇〇

第八十四大隊 〇〇〇〇

第八十五大隊 〇〇〇〇

第八十六大隊 〇〇〇〇

第八十七大隊 〇〇〇〇

第八十八大隊 〇〇〇〇

第八十九大隊 〇〇〇〇

第九十大隊 〇〇〇〇

第九十一大隊 〇〇〇〇

第九十二大隊 〇〇〇〇

第九十三大隊 〇〇〇〇

第九十四大隊 〇〇〇〇

第九十五大隊 〇〇〇〇

第九十六大隊 〇〇〇〇

第九十七大隊 〇〇〇〇

第九十八大隊 〇〇〇〇

第九十九大隊 〇〇〇〇

第一百大隊 〇〇〇〇